

今回4名が質問し、
その要約を掲載しました。

藤 咲 芙美子 議員 16

- ・ 甲状腺エコー検査について
- ・ 子供医療費について
- ・ 高齢者健診について

三 村 孝 信 議員 17

- ・ 七会中校舎利用について
- ・ 住民投票について

南 條 治 議員 18

- ・ 生活道路の整備
- ・ 黒澤止幾の生家について
- ・ 環境センターについて
- ・ 山桜の件について

河原井 大 介 議員 19

- ・ 行政組織再編について
- ・ 子ども議会について

一般質問

町政を問う

甲状腺エコー検査について



藤咲 芙美子 議員

《町長》 検査以外の内容も含め確認し検討する。

藤咲 福島第一原発事故は、いまでも重大な災害を残している。新聞に「福島甲状腺がん確定116人」と報道された。チェルノブイリの例にある通り、放射線による健康被害は長い時間をかけて現れる。30年経った今も、内分泌系、代謝系、免疫系疾患、造血器官の疾病、先天性異常などで苦しんでいる人がいる。ウクライナの専門家は、UNSCLEARが明確な相関関係が認められなければ被害を認めようとするしないことを批判している。

放射能被害に対する不安は大きい。その払拭は町政の義務であると思う。ちなみにエコー検査の財源は国の復興特別交付金で手当てされる。特定被災地方公共団体なら放射能濃度に関係ないとの国の担当者は答えている。財政的な懸念は必要ない。町長の決断を聞きたい。



城里町の大切な子供たち

町長 県内で9市町村が実施している。財政的負担が心配だったが、復興特別交付金で措置される。となれば、研究していきたい。省令で100%措置が確認されればと思っ

ている。

子供医療費について

《町長》 限られた財源を安定的に施行できるように研究していく。

藤咲 城里町では医療福祉費支給制度で中学卒業時までの無料化を実施しているが、一医療機関月2回まで600円の窓口負担が必要で、完全無料化とは言えない。緊急、家庭事情を考慮した場合、**町長** 完全無料化が必要ではないか。**町長** 限られた財源のなかで順次子育て支援策を拡充していくのだが、この件は研究していきたい（保険課長「2200万円増」と答弁）。

高齢者健診について

《町長》 今回は補助額を引き下げ、補助対象人数を増やした。

藤咲 75歳以上の方の健診が5項目のみで、特定健診の項目を受診しようとする、1750円の自己負担となるのは不公平である。

人間ドックの75歳以上の方だけが全額自己負担になっているのは高齢者に対する差別だ。是正を求めたい。

町長 近隣市町村の動向や財政状況を踏まえ検討したい。（保険課長「近隣では17市町村が無料で実施」と答弁）



三村 孝信 議員

七会中学校跡地利用に関する活用構想

《町長》 城里町全体の活性化やPRにも繋がっていく。

【三村】 七会中学校

跡地に、支所や公民会等の公共施設を統合し、クラブハウスとグラウンドを整備してJ2の水戸ホーリーホックスを誘致したいとの事だが、事業の効果と今後のスケジューリングは。

【町長】 プロサッカー

球団が入ってくることに、新しい人の流れも生まれる、そうした中で七会地区だけでなく城里町全体の活性化やPRにも繋がると思う。大まかなスケジューリングは、平成28年度で計画を煮詰め、平成29年度に本格的な工事を行い平成30年度には施設として活動を開始したい。

【三村】 校舎の改築

やグラウンド整備の予定

算はどれくらいになるのか。また

手当てをするための整備資金はどのように考えているのか。

【町長】

ある程度

の幅を持って言う。と1億5千万円から2億5千万円ぐらいと見込んでいます。整備資金については、7割の交付税措置のある合併特例債を活用したい。またスポーツ振興くじtotoから助成金をいただけないかと思っている。仮に、2億5千万円かけるとして町の自己負担額は6千7百万円程度になる見込みだ。



広々としたグラウンド



静まり返った空き校舎

常設型住民投票条例の制定について

《町長》

原案をたたき台にして議論してもらいたい。

【三村】 条例の制定

化に向けた町長の基本的な考え方は。

【町長】 選挙により

行政の長が選ばれた後に重要な課題が提示される事がある。

この場合に住民の意見を直接聞く機会があるのは有意義だ。

【三村】 投票の資格

者、請求要件投票の期日、成立要件は。

【町長】 18歳以上の

町民になる。住民投票の請求には、50分の1の署名が必要になる。期日は毎年11月の最終日曜日にその年の分を纏めて実

施したい。成立要件については、投票資格者の3分の1以上の投票率としたい。今回は議案として提出している訳ではないので、議会に中での、これをたたき台にして議論してもらいたい。

生活道路の整備



南條 治 議員

《町長》 道路の改修に努めていく。

南條 緊急車両がスムーズに円滑に活動できる事が安心安全に繋がる真のまちづくりと考えるが。

耳を傾け、救急病院等のない現在の城里町。緊急車両が速やかに通行できる道路の整備は非常に重要。積極的に補修や改良を進めたい。

町長 緊急車両の通行に支障のある路線、中型以上の車両が通行できない路線は、「町内40路線」消防署確認、地域の意見など真摯に



速やかな補修・改良が必要な道路

環境センターについて

《町長》 来年から検討委員会を設置し、検討していく。

南條 建設から30年が経過。耐用年数とその状況の見極め。これが非常に大事と考えるが。

町長 操業開始から32年が経過。焼却炉を初めとする機器

は経年劣化による老朽化が顕著に現れ各設備の随時補修を繰り返しての操業。老朽化への抜本的な対策が急務。ごみ処理の広域化。施設の延命化。施設の更新な

黒澤止幾の生家について

《町長》 保存活用について議論を進めていく。

南條 居宅109平方メートルを北方在住の大沢敏夫様から、土地807平方メートルについては、錫高野の桂ヶ丘開発(株)様より御寄附をいただいたが、町としての考え、教育委員会の今後の取り組みは。



保存活用される城里町指定文化財

町長 黒澤止幾の生家については、歴

史的に価値のある建物。今後保存活用についてしっかりと議論を進めたい。城里町の財産として素晴らしいものだと思える。

教育長 町として文化史跡として今回指定。その保存活用については、「専門家」「関係の方々」を含め組織を立ち上げ、どういうふう

に保存していくか、検討していきたい。

山桜の件について

《町長》

被告3名に対し、裁判の手続きは始まっている。

南條 その後の進捗状況、使途不明金の件はどうなった。

会で決定。3月1日に弁護士により訴訟書類の提出を裁判所に行う。原告・(株)物産センター「山桜」、被告・元店長、元監査委員2名。訴えの内容

に相談調査確認をし、弁護士が調査した結果を山桜役員会に報告。1550万円の損害賠償を求める訴訟を行うことで取締

内容を支払って下さいという内容。



河原井 大介 議員

行政組織再編について

《町長》時代の変化に機能的に対応する組織を再編した。

河原井 行政の組織再編の意義、その方向性とは。

町長 時代の変化に対応できる組織を作り、住民の要望に沿った効率的な行政を進められるようにしたい。

河原井 「まちづくり戦略課」への住民の声が届くシステムとはどのようなものか。

町長 目安箱の設置等これまでに行ってきた方法の他、新しく地域おこし協力隊によるコミュニティカーフェ等の機会を考えている。

河原井 東日本震災の総括についてはどのように考えているのか。Dig（デイク：災害図上訓練）、Hug（ハグ）避難所の運営、訓練をしてはどうか。

町長 総括については作業中であり、体制を強化して纏めていきたい。図上訓練については、地域防災室（3名の人員を配置）が発出した折には指示を出したい。

河原井 今後5年間の財政面の現状や課題は。組織再編をした上での具体的な行動は。

町長 普通交付税額の特例措置終了で、合併10年が経ち、平成27年度から平成31年度にかけて、これから交付税が段階的に縮減される。効率的、効果的な財政運営を努めたい。



ななかの里の米「コシヒカリ」



城里コシヒカリ「コケッコー米」

ランはあるか。
町長 ふるさと納税を活用し、町の農業を支えたい。加工品の商品開発等も応援したい。
（例として、返礼品のお米の出荷が1週間で5tぐらい）

子ども議会について

《町長》 今後開催していきたい。

河原井 子ども議会について、さらには、多くの方が傍聴しやすい日程の検討や、ある程度大きい場所での開催を行ってはどうか。

町長 改善を繰り返しながら、今後も実施していきたい。

河原井 提案として

農業者の声を届ける農業議会、商業議会の、工業者の商工議会、長寿議会等の開催を検討されては。



子ども議会の様子